



夏休み期間中、学童で出張図書館を実施しました！本の入れ替えに行くと、どんな本が届いたのかを見に集まってくれたり、本を並べ終わると早速読んでくれたり……みなさん楽しみにしてくれているので、「出張図書館」継続中です♪

新しく雑誌が仲間入りしました

村立図書館で、雑誌の定期購読を開始しました。本年度は8種類の雑誌が定期的に館内に並びますので、ぜひ図書館へお立ち寄りください♪



雑誌名	出版社	発行間隔
週刊文春	文藝春秋	週刊
オレンジページ	オレンジページ	月2回
NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊
LEE	集英社	月刊
POPEYE	マガジンハウス	月刊
kodomoe	白泉社	隔月刊
CU	(株)メディコム	月刊
しぜん キンダーブック	フレーベル館	月刊

※現時点では、雑誌の貸出は行っていません。館内でゆっくりとご覧ください。

佐那河内村立図書館（農振センター3階）

■ 開館時間 / 平日 9:00～12:00 13:00～17:00 ■ 閉館日 / 土・日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日） ■ お問い合わせ 教育委員会

佐那河内の人権教育 vol.306 / 第3回 人権大学講座を実施しました

お茶の水女子大学理事・副学長の石井クンツ昌子さんを講師とし、「コロナ禍における家庭内の男女平等を考える」をテーマにオンラインで講演していただきました。その内容を紹介します。

「男は仕事、女は家庭」、「青は男、ピンクは女」といった性別に関わるさまざまな固定観念は、生活の中で身についたアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）です。日本で新型コロナウイルス感染症が流行し始めたころ、新聞には「臨時休校に保育園休園で世の中のママが大ピンチ」、「ママやめたい！外出自粛で広がる悲鳴」などの見出しが並び、「子育ては母親がするもの」という日本の根強い男女役割の固定観念が露呈しました。

みなさんは「名もなき家事」という言葉をご存じですか？「裏返しの衣類を直す」「玄関の靴の整理」「献立の考案」「シャンプーなどの補充」「学校・保育園などの書類作成」などの細々とした作業のことです。さらにコロナ以降は、「手洗いうがいの呼びかけ」「マスク・消毒液のチェック、補充」などの「新名もなき家事」が増えました。名もなき家事は他にもたくさんあり、全ての作業を一人が担うと負担が大きくなってしまいます。

家庭や社会における男女共同参画の実現は、みんなの幸せにつながります。そのためには、個人・職場・行政が連携・協力し、一丸となって男女平等の実現をめざすことが必要です。

みなさんも、まずは身近な生活面から、無意識の思い込みや家庭内の分担について見直してみませんか。

佐那河内村人権教育研究協議会・佐那河内村教育委員会